

あなたは どう思う？



くりしいっちゃん！ 座談会



第1回 座談会開催しました！

2022年4月16日（日）に、元気の出る館ホールにて、くりしいっちゃん座談会の1回目が開催されました。40名の村民が参加しました。ここでは2日間の内容をダイジェストでお伝えします。



当日の様子を
動画でチェック！

くりしいっちゃん座談会は、年齢や性別、そして住んでいる集落に関係なく誰でも気軽に参加できる話し合いの場です。友達とお茶をするように、村の暮らしや気になること、この村をどうしていきたいかをおしゃべりします。去年は、YouTubeで「秘密のウケンミンSHOW」を配信したり、総合体育館の前の公園でピクニックのイベントを開いたりしていました。知っていましたか？



裏面もチェック ▶▶▶

座談会では、事業の経緯や座談会の進め方、話し合う上で大切なことなどを聞いたあと、グループで自由におしゃべりしました。ここでは3つのポイントをご紹介します。



当日の説明はこちらから▶

1 調査で発覚！ 村では本当のことが言えない!?

座談会に先立ち、全集落のうち 73 名の方に村や生活について直接会ってお話を聞きました。一番多く聞かれた悩みが「思っている、本当のことが言えない」でした。仲が良いからこそ遠慮してなかなか言えないという意見や、噂がすぐ広まってしまうという心配、反対意見だとけんかになる、何か納得するまで話し合う機会がこれまでなかった等様々な理由が挙げられました。



2 今一番大切なことは 気楽に話しあえる場づくり



オンラインで参加したコミュニティデザイナーの山崎さんからは、「地域の問題に住民同志で取り組むには、本音で話し合えないと根本的な解決になりません。この事業で最初に取り組むのは、話し合いの土壌づくりです。ここがすごく重要です。この土壌をつくり、順番に未来についての対話や実際の活動などが生まれると、地域の福祉、幸せづくりが長続きし、不安だなと思っても、あそこに行けば気楽に話せるんだという場所が村や集落にできれば、事業が終わった後もみんなでそこに集まって、なんとなく話ができていくんじゃないかと思います。」



3 違いを理解する 座談会では「対話」を大切に



話し合いには「会話・討論・対話」の3つの方法があります。今回の座談会は、互いの考えや違いを理解する「対話」で進めます。意見が違う人の話を聞いて、自分の考えが変わればうまく対話できている証拠です。1回目の座談会では、対話のエクササイズとして「きのこ・たけのこ」ゲームを行いました。

次回は4校区で開催します。ぜひご参加ください！